

令和 3 年度

事業概要



佐賀県食肉衛生検査所

〒846-0024 佐賀県多久市南多久町大字下多久4127

電話 0952 (76) 2611

FAX 0952 (71) 2008

E-mail: shokunikukensa@pref.saga.lg.jp

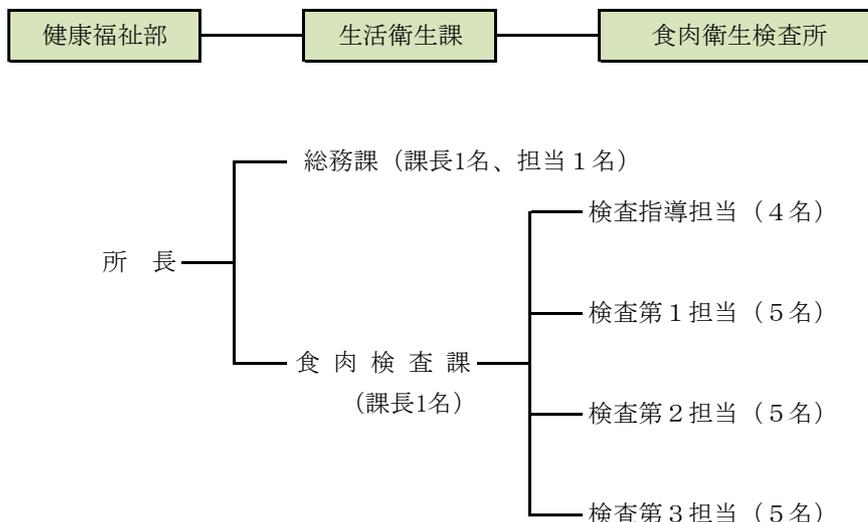
目 次

第1章	検査所の概要	
1	組織及び業務内容	1
2	施設	4
3	備品	7
4	手数料	9
5	県内のと畜場	10
6	と畜検査フロー	11
第2章	検査事業	
1	検査事業の概要	12
2	検査統計	14
	(1) と畜検査頭数の推移	14
	(2) と畜検査頭数の内訳	16
	(3) 検査結果に基づく措置状況	18
	(4) 病畜の検査状況(県計頭数)	27
	(5) BSEスクリーニング検査結果	29
	(6) 精密検査	30
第3章	食鳥肉衛生指導事業	
1	県内食鳥処理場位置図	32
2	事業概要	33
	(1) 立入検査状況	33
	(2) 収去検査状況	33
	(3) 微生物検査状況	33
	(4) 食鳥検査及び確認状況	34
第4章	調査研究事業	
1	調査・研究・報告の概要	36
	(学会等発表)	
	○牛腸結節虫感染を疑う肉芽腫性腸炎がみられた牛の2例	37
	○牛の小腸	38
2	研修・会議等参加状況	39
第5章	その他の事業	
1	佐賀大学との調査研究	40
2	食肉に関する衛生教育及び施設研修等	40
3	と畜検査結果のフィードバック	40
4	研究機関等への協力	40

第1章 検査所の概要

1 組織及び業務内容

(1) 組織（令和4年6月30日現在）



職員の構成 令和4年6月30日現在

区分	事務職員	技術職員(獣)	計
所長		1	1
総務課	2		2
食肉検査課		20	20
計	2	21	23

(2) 業務内容

- ア) と畜場法に基づき、食用に供する目的で搬入された獣畜について食肉の安全性を確保するため、生体検査・解体検査・BSE検査及び精密検査を行う。
- イ) と畜検査の結果、食用として不適と判断された場合、とさつ・解体の禁止、廃棄等の行政措置を行う。
- ウ) と畜場内及びと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内並びに食鳥処理場内における施設の衛生確保を図るため、施設設備の清掃・消毒、そ族・昆虫の駆除、排水処理、廃棄物処理等について監視指導を行う。
- エ) と畜場及び食鳥処理場における食肉の安全確保を図るため、監視・指導・検査を行い、病原菌に汚染され、又は汚染されるおそれのある場合、公衆衛生上の必要な措置を講ずる。
- オ) 食肉衛生に関する情報の収集管理、調査・研究、知識の普及啓発及びと畜検査の技術の研鑽を行う。
- カ) 食品衛生法に基づき、と畜場及び食肉処理場における食肉・食鳥肉の収去検査を行う。
- キ) と畜場内又はと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内において生産され、製造され、又は加工される畜産物に係る輸出証明を行う。

○佐賀県食肉衛生検査所設置条例（抄）

第1条 と畜場法（昭和28年法律第114号）に基づくと畜の検査及びと畜場の衛生、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）に基づく食鳥処理場の衛生、食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基づくと畜場内、と畜場に併設する食肉処理業に係る施設内又は食鳥処理場内における食品衛生並びに農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）に基づくと畜場内又はと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内において生産され、製造され、又は加工される畜産物に係る輸出証明に関する事務を分掌させるため、食肉衛生検査所を設置する。

第2条 食肉衛生検査所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	所管区域
佐賀県食肉衛生検査所	多久市	佐賀県全域

○佐賀県食肉衛生検査所管理規則（抄）

（組織）

第2条 検査所に次の課を置く。

総務課

食肉検査課

（分掌事務）

第4条 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- 1 公印の管守に関する事。
- 2 職員の服務に関する事。
- 3 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- 4 庶務に関する事。
- 5 会計事務に関する事。
- 6 所管事務の総合調整に関する事。
- 7 その他他課の所掌に属しない事項に関する事。

食肉検査課

- 1 と畜検査に関する事。
- 2 と畜検査及び食鳥検査に基づく措置に関する事。
- 3 と畜場及び食鳥処理場並びにと畜衛生及び食鳥処理衛生に関する事。
- 4 と畜場内及びと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内（第8条第1項第13号及び第16号において「と畜場内等」という。）並びに食鳥処理場内における食肉衛生に関する監視、指導、検査及び措置に関する事。
- 5 動物由来感染症（動物から人間へ感染する疾病をいう。）の調査研究に関する事。
- 6 食肉衛生に係る情報の収集管理に関する事。
- 7 食肉衛生に係る知識の普及啓蒙に関する事。
- 8 食肉衛生検査の技術指導及び研修に関する事。
- 9 と畜場内又はと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内において生産され、製造され、又は加工される畜産物に係る輸出証明に関する事。

(所長の専決事項)

第8条 所長は、次に掲げる事項について専決処理することができる。

- 10 と畜場法（昭和28年法律第114号）第17条第1項及び佐賀県と畜場に関する条例（平成15年佐賀県条例第17号）第3条の3第1項の規定による報告の徴収及び立入検査に関すること。
- 11 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号。以下「法」という。）に基づく届出及び報告（法第21条に規定する指定検査機関（以下「指定検査機関」という。）に関するものを除く。）の受理に関すること。
- 12 法に基づく立入検査、監督及び指導（指定検査機関に関するものを除く。）に関すること。
- 13 と畜場内等及び食鳥処理場内における食品衛生法（昭和22年法律第233号）第21条第1項の規定による報告の徴収及び立入検査に関すること。
- 14 と畜場内又はと畜場に併設する食肉処理業に係る施設内において生産され、製造され、又は加工される畜産物に係る農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号。以下この項において「輸出促進法」という。）第15条第2項の規定による輸出証明書（農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律施行規則（令和2年財務省・厚生労働省・農林水産省令第1号）第4条第1号の衛生証明書に限る。）の発行及び輸出促進法第38条第5項の規定による当該輸出証明書の発行の取消しに関すること。
- 15 と畜場及びと畜場に併設する食肉処理業に係る施設に係る輸出促進法第17条第2項の規定による適合施設の認定の申請の受理に関すること。
- 16 と畜場内等における輸出促進法第38条第2項の規定による報告の徴収及び立入検査に関すること。

○と畜場法及び佐賀県と畜場に関する条例施行規則（抄）

(事務の委任)

第7条 佐賀県食肉衛生検査所長に、次に掲げる事務を委任する。

- 1 法〔と畜場法〕第13条第1項第1号の規定による届出の受理に関すること。
- 2 法第13条第3項の規定による指示に関すること。
- 3 法第14条の規定による検査に関すること。
- 4 法第16条の規定による措置に関すること。
- 5 政令〔と畜場法施行令〕第4条第2号の規定による許可に関すること。
- 6 政令第5条第1項第1号から第3号までの規定による許可に関すること。

○佐賀県食品衛生法施行細則（抄）

(委任)

第7条 と畜場又は食鳥処理場内において法〔食品衛生法〕第6条、第10条、第12条並びに第13条第2項及び第3項の規定に違反した場合における法第59条の規定による処置命令に関する事務は、佐賀県食肉衛生検査所長に委任する。

2 施 設

(ア) 所在地	多久市南多久町大字下多久4127		
(イ) 敷地面積	958.32㎡		
(ウ) 建 物	本 館	鉄筋コンクリート	2階建 669.56㎡
		1階	383.33㎡
		2階	286.23㎡
	車 庫	鉄骨スレート造 平屋	22.04㎡
	機械室	鉄筋コンクリート 平屋	24.00㎡
	倉 庫	プレハブ物置	6.25㎡
		合計面積	721.85㎡
		建築面積	423.48㎡
(エ) 工 期	起工	昭和55年 8月 5日	
	竣工	昭和56年 1月31日	
(オ) 総事業費	143,530千円		
	設計監理委託	3,850千円 (昭和53年度、55年度)	
	建築工事費	104,526千円 (昭和55年度、56年度)	
	初度調度費その他	35,154千円 (昭和53年度、55年度)	
(カ) その後の主な増改築等			
	○事務所増築工事 (平成3年度、4年度)		
	建築工事費	10,300千円	
	○倉庫増築工事 (平成4年度)		
	建築工事費	2,360千円	
	○プレハブ倉庫新築工事 (平成11年度)		
	建築工事費	283千円	
	○BSE検査室増築工事 (平成14年度)		
	設計監理委託	578千円	
	建築工事費	7,770千円	
	○受変電設備、空調設備改修工事 (平成19年度)		
	設計監理委託	1,029千円	
	受変電設備等改修工事	10,332千円	
	空調設備改修工事	6,265千円	
	○女子休養室改修工事 (平成24年度)		
	建築工事費	1,250千円	

○外壁改修工事（平成25年度）

設計監理委託 777千円

建築工事費 9,341千円

○構内電話設備更新工事（平成27年度）

建築工事費 518千円

○食肉衛生検査所内部改修工事（令和元年度）

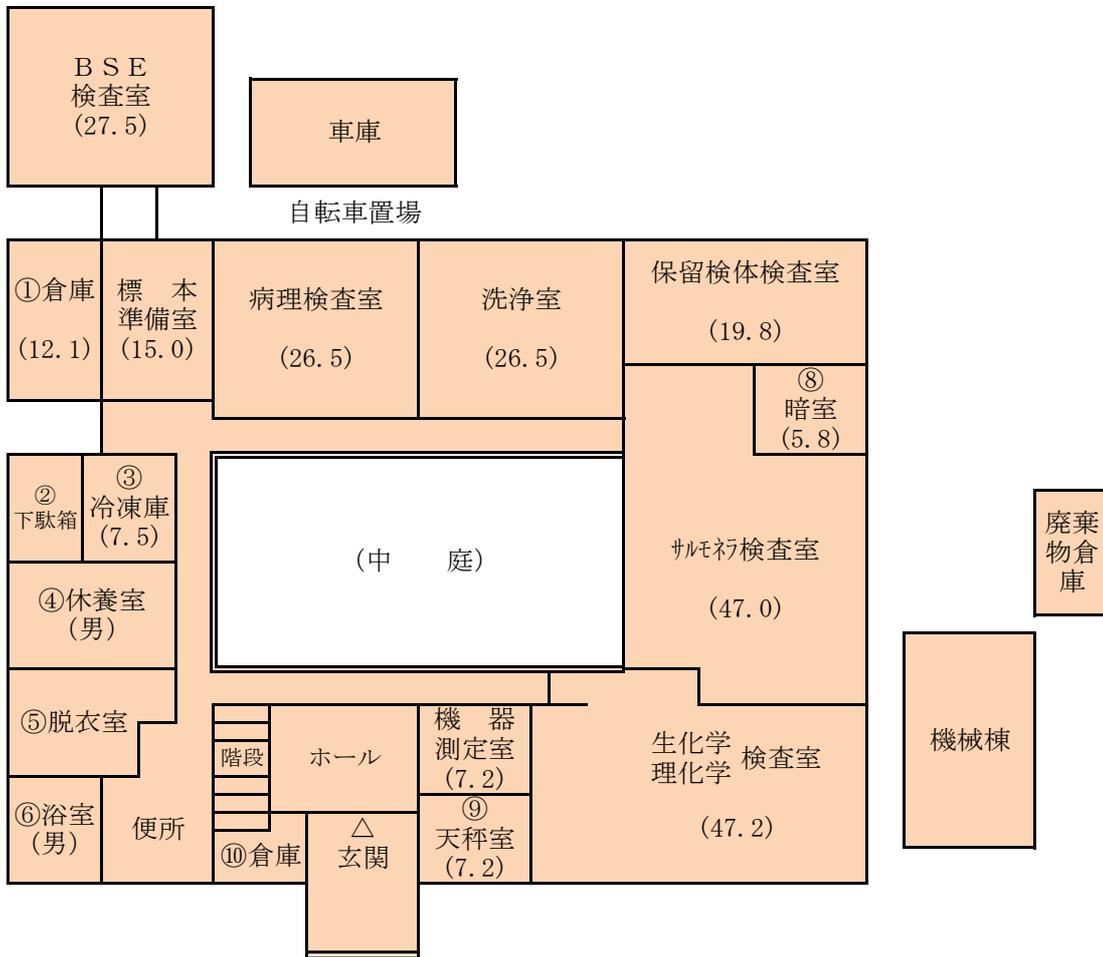
設計監理委託 1,388千円

建築工事費 11,982千円

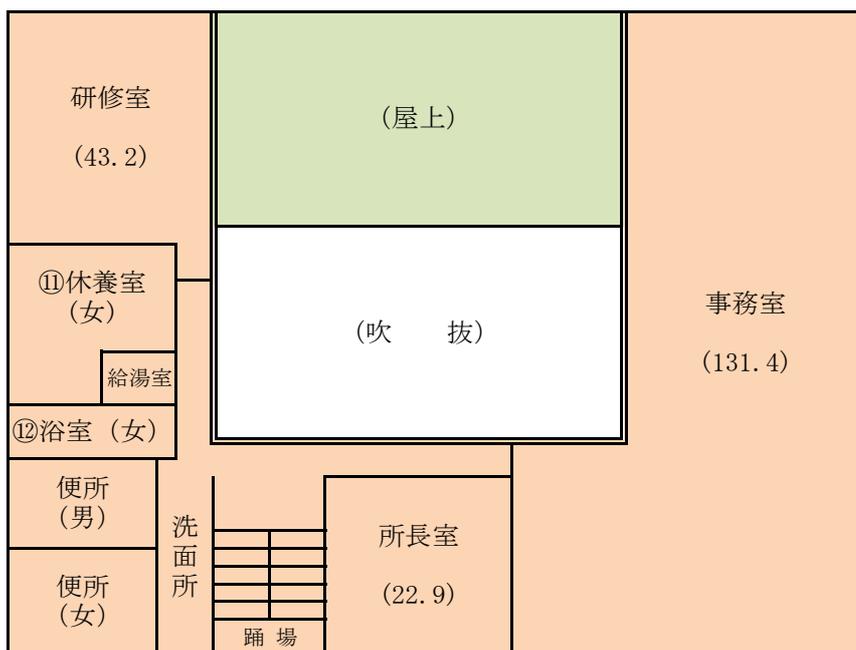
機械設備その他工事 14,053千円

平 面 図

1 階



2 階



() 書きは室面積 (単位: m²)

3 備 品

○主要検査機器

(単位：円)

品 名	数	規 格	製作社名	購入金額	購入年月日	設置場所
安全キャビネット	1	MHE-130AJ	サ ン ヨ ー	1,481,550	H13.10.15	B S E 検査室
ドラフトチャンバー	1	DF-11AK型-1200	ダ ル ト ン	1,638,000	H15. 3.26	B S E 検査室
ドラフトチャンバー	1	TQ-600-2型	ダ ル ト ン	2,131,500	H18. 1.24	理化学検査室
ドラフトチャンバー	1	TQ-610-2T型	ダ ル ト ン	3,091,200	H20. 3. 7	病 理 検 査 室
安全キャビネット	1	VH-1300BH-2A2	(株)日本医科 器 械 製 作 所	1,470,000	H23. 6. 7	サ ル モ ネ ラ 検 査 室
リアルタイムPCR 増幅装置	1	CFD-3120J1	バイオラッド (株)	1,596,000	H24. 4.18	B S E 検査室
超低温フリーザー	1	MDF-U33V	パナソニックヘル スケア(株)	1,596,000	H25.11.21	サ ル モ ネ ラ 検 査 室
高速大容量冷却遠心機	1	7000	久保田商事(株)	2,467,500	H26. 2.28	理化学検査室
密封式自動固定包埋装 置	1	ティッシュ・テッ クVIP-6	サクラファイイン テックジャパン (株)	4,987,500	H26. 3.11	病 理 検 査 室
システム生物顕微鏡 (撮影装置付)	1	顕微鏡 顕微鏡用 デジタルカメラ	オリンパス(株)	3,893,400	H26. 3.20	保留検体検査室
微量高速冷却遠心機	1	MX-307	(株)トミー精工	1,112,400	H26. 9.18	B S E 検査室
マイクローム	1	REM-710・ SB	大和光機工業 (株)	1,080,000	H26.10.28	病 理 検 査 室
高速液体クロマトグラ フシステム	1	Agilent1260 Infinity	アジレント・テ クノロジー(株)	8,640,000	H28.2.12	理化学検査室
臨床化学分析装置	1	スポットケム EZ SP-4430	アークレイ(株)	1,074,600	H28.5.19	理化学検査室
顕微鏡画像撮影装置	1	OLYMPUS DP73	オリンパス(株)	1,749,600	H28.8.25	病 理 検 査 室
パラフィン包埋ブロッ ク作成装置	1	ティッシュ・テッ クTEC5	サクラ精機(株)	1,674,000	H28.9.9	病 理 検 査 室
凍結組織切片作成装置	1	ポラーB、ヒスト テックPIN-600	サクラファイイン テックジャパン (株)	3,942,000	H29. 7.20	病 理 検 査 室
生物顕微鏡	1	BX53LED-44	オリンパス(株)	1,744,200	H29.10. 4	病 理 検 査 室
撮影機 カメラスタン ドMFシリーズ	1	MF-MD-LED-2	株)エス・エフ シー	1,059,480	H30.8. 29	病 理 検 査 室
ロータリーエバポレー ター	1	R-300	株)ビュッヒ	1,031,400	H30.11. 14	理化学検査室
マイクロプレートリー ダー	1	FCベーシック	サーモフィッ シャーサイエン ティフィック(株)	1,156,680	R1.7.25	B S E 検査室
超音波洗浄自動洗浄機	1	PG8583	久保田商事(株)	1,647,800	R2.1.28	理化学検査室

品名	数	規格	製作社名	購入金額	購入年月日	設置場所
臨床化学分析装置	1	SP-4430V	アークレイ(株)	1,078,000	R2.9.25	理化学検査室
全自動血球計数器	1	MEK-6550	日本光電(株)	1,518,000	R2.10.16	保留検体検査室
PCR食中毒菌検出装置 (クオリバックスシステムQ7)	1	クオリバックスシステム Q7	米国HIGIENA社	4,785,000	R2.11.12	サルモネラ室
ノンフロン超低温フリーザー	1	MDF-DU300H-PJ	PHC(株)	1,158,300	R3.8.27	サルモネラ室

4 手 数 料

(1) と畜検査手数料

R4.6.30 現在 (円/頭)

畜 種	手 数 料	
	時 間 内	時 間 外
牛	660	1,300
馬	660	1,300
豚	330	670
めん羊・山羊	230	440

(2) 事務手数料 (と畜検査実施証明等)

1件 350円

(参考) 佐賀県食肉センターの使用料及び解体料

R4.6.30 現在 (円/頭)、消費税込

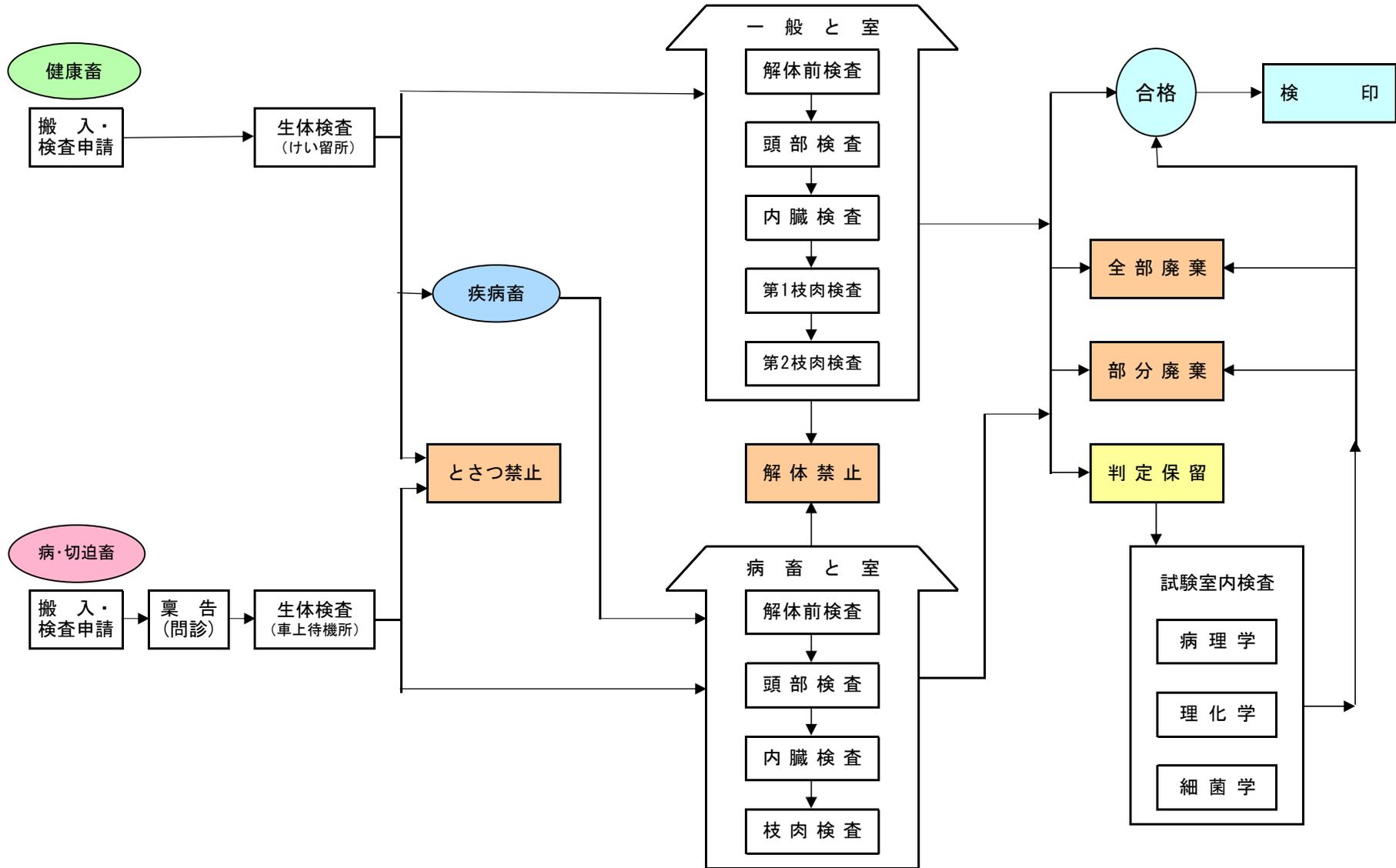
項 目 畜 種	と 場 使 用 料		解 体 手 数 料		
	時 間 内	時 間 外	一般解体料	事 故 畜 解 体 料	
				時 間 内	時 間 外
牛・種雄牛	2,750	5,500	6,688	9,988	14,850
とく	1,925	4,400	4,510	7,975	14,850
乳とく	1,155	2,585	1,441	2,541	4,950
馬・種雄馬	1,650	4,400	4,510	7,975	14,850
豚大貫	770	2,200	2,552	4,857	9,900
豚	770	2,200	1,276	2,420	4,950
めん羊・山羊	385	1,100	693	1,265	2,475

5 県内のと畜場



と畜場番号	と畜場名	運営形態	備考
⑦	太良食肉センター	組合	昭和46年7月開設
⑨	佐賀県食肉センター	一般社団法人	昭和56年1月開設

6 と畜検査フロー



第2章 検査事業

1 検査事業の概要

当検査所は、食肉の安全確保を図るため、家畜疾病等の排除を行うとともに、と畜場内の処理工程における食肉の衛生的取扱いについて監視指導を行っている。

さらに、食肉、鶏卵等の残留有害物質検査、枝肉の指標細菌数の他に、腸管出血性大腸菌、サルモネラの検査等を実施した。

(1) と畜検査頭数の推移

と畜頭数は、ここ数年減少し昨年度は微増したが、令和3年度は再び減少に転じた。

今年度の総検査頭数は106,456頭で、前年度と比較して4.3%（4,764頭）の減少である。

畜種別にみると牛5,095頭、とく3頭、豚101,357頭となっており、牛・とくは前年度と比較して7.5%（412頭）減少、豚は前年度と比較して4.1%（4,353頭）減少している。

(2) と畜検査頭数の内訳

肉用牛4,916頭、乳用牛179頭、とく3頭、馬1頭、豚101,357頭（佐賀県食肉センター88,011頭、太良食肉センター13,346頭）であった。総検査頭数に占める割合は牛・とくが4.8%、豚が95.2%である。

病畜として搬入された獣畜は611頭で総検査頭数の0.57%であり、畜種別では牛607頭、とく3頭、馬1頭であった。

(3) 検査結果に基づく措置

① 全部廃棄

全部廃棄頭数は、牛80頭、とく1頭、馬0頭、豚240頭、計321頭であった。

牛は、白血病（牛伝染性リンパ腫を含む）が19頭、尿毒症が14頭、膿毒症が17頭、敗血症が14頭、全身性の変性が11頭、高度の黄疸が4頭、全身性の腫瘍が1頭であった。

とくは、膿毒症が1頭であった。

豚は、膿毒症が177頭、敗血症が25頭、豚丹毒が3頭、全身性の変性が30頭、全身性の腫瘍が1頭、白血病が3頭、高度の黄疸が1頭であった。

② 部分廃棄

牛・とく・馬の部分廃棄件数の器官別内訳は、呼吸器系15.0%、循環器系3.0%、消化器系53.4%、泌尿生殖器系16.0%、運動器系及びその他12.5%であった。豚の部分廃棄件数の器官別内訳は、呼吸器系65.6%、循環器系7.0%、消化器系22.2%、泌尿生殖器系3.4%、運動器系及びその他1.8%であった。

(4) 病畜の検査状況

病畜の検査結果に基づく疾患の分類は、呼吸器系疾患15.2%、肝疾患15.2%、消化器系疾患8.2%、泌尿器系疾患3.8%、生殖器系疾患3.4%、運動器系疾患22.3%、その他の疾患19.5%、全部廃棄12.4%であった。

(5) BSE 検査

平成 29 年 4 月 1 日からの健康牛の BSE 検査廃止に伴い、24 か月齢以上の牛のうち疾病鑑別の観点から検査が必要であると判断した牛（症状を呈する牛）のみ検査を実施することとしている。今年度は検査の実施がなかった。

(6) 精密検査

と畜場での生体及び解体後の検査で精密検査を要するものについては、試験室において病理学的、理化学的、細菌学的検査を実施した。

(7) 衛生管理指導

佐賀県食肉センターで立入検査 200 回、書類審査 12 回、検査結果の討議・指導 11 回、太良食肉センターで立入検査 78 回、書類審査 12 回、検査結果の討議・指導 12 回を実施した。と畜場法に基づく衛生管理が適切に実施されているかの確認、指導を行うとともに、衛生講習会を実施することにより、従事者の衛生に対する意識向上を図った。

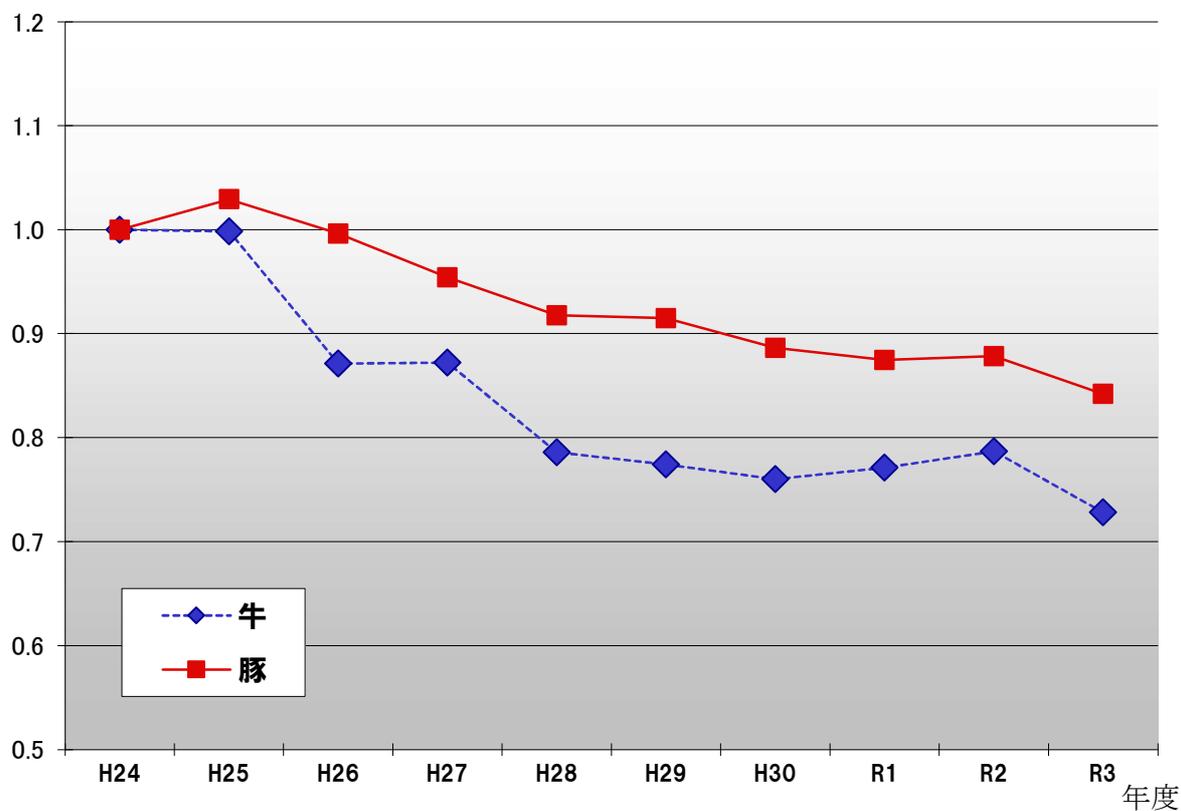
2 検査統計

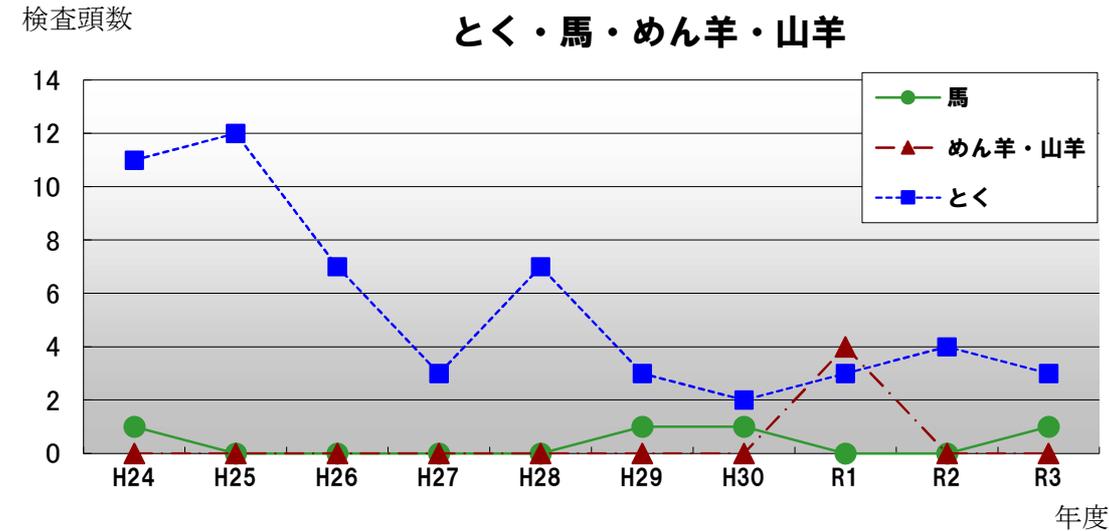
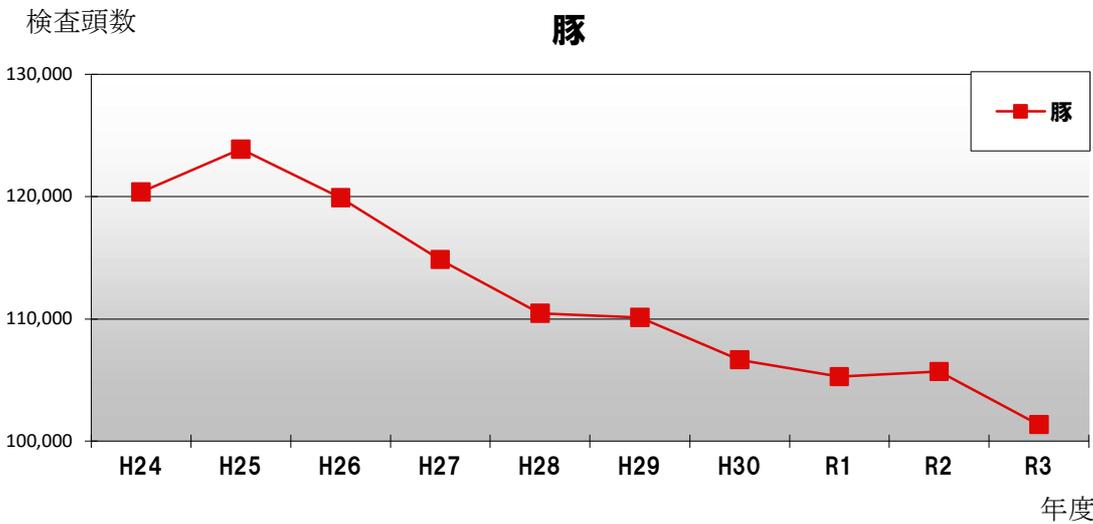
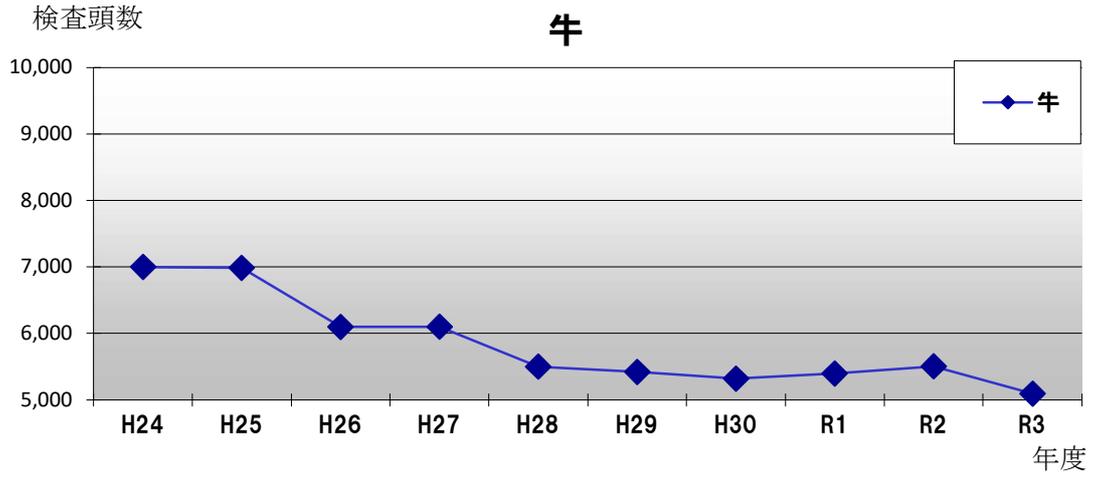
と畜検査頭数

(1) と畜検査頭数の推移

年度	畜種 牛	とく	馬	豚	めん羊・山羊	計
平成24年度	6,998	11	1	120,367	-	127,377
平成25年度	6,986	12	-	123,890	-	130,888
平成26年度	6,096	7	-	119,898	-	126,001
平成27年度	6,103	3	-	114,864	-	120,970
平成28年度	5,500	7	-	110,453	-	115,960
平成29年度	5,418	3	1	110,109	-	115,531
平成30年度	5,320	2	1	106,665	-	111,988
令和元年度	5,396	3	-	105,283	4	110,686
令和2年度	5,506	4	-	105,710	-	111,220
令和3年度	5,095	3	1	101,357	-	106,456

平成24年度の検査頭数を1.0とした場合の牛豚のと畜検査頭数の増減比較





(2) と畜検査頭数の内訳

①と畜場別・月別と畜検査頭数（令和3年度）
（県計）

畜種\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肉用牛	444	409	368	433	384	425	399	458	424	362	432	378	4,916
乳用牛	20	13	9	10	12	10	19	18	14	22	13	19	179
とく	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	3
馬	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
豚	8,735	8,139	8,566	8,162	7,776	8,571	8,957	8,844	8,940	8,248	7,844	8,575	101,357
めん羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	9,200	8,561	8,943	8,606	8,172	9,006	9,376	9,321	9,378	8,632	8,289	8,972	106,456

(佐賀県食肉センター)

畜種\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肉用牛	444	409	368	433	384	425	399	458	424	362	432	378	4,916
乳用牛	20	13	9	10	12	10	19	18	14	22	13	19	179
とく	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	3
馬	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
豚	7,622	7,105	7,438	7,058	6,664	7,369	7,834	7,654	7,831	7,234	6,733	7,469	88,011
めん羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	8,087	7,527	7,815	7,502	7,060	7,804	8,253	8,131	8,269	7,618	7,178	7,866	93,110

(太良食肉センター)

畜種\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豚	1,113	1,034	1,128	1,104	1,112	1,202	1,123	1,190	1,109	1,014	1,111	1,106	13,346
めん羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山羊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,113	1,034	1,128	1,104	1,112	1,202	1,123	1,190	1,109	1,014	1,111	1,106	13,346

② 月別時間外検査頭数

(県計)

畜種 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
牛	4	13	3	5	5	9	4	2	10	14	2	3	74
とく													-
馬													-
豚													-
めん羊・山羊													-
計	4	13	3	5	5	9	4	2	10	14	2	3	74

③ 月別病畜検査頭数

(県計)

(時間外含む)

畜種 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
牛	63	42	42	60	59	62	62	32	46	53	41	45	607
とく				1			1	1					3
馬	1												1
豚													-
めん羊・山羊													-
計	64	42	42	61	59	62	63	33	46	53	41	45	611

(3) 検査結果に基づく措置状況

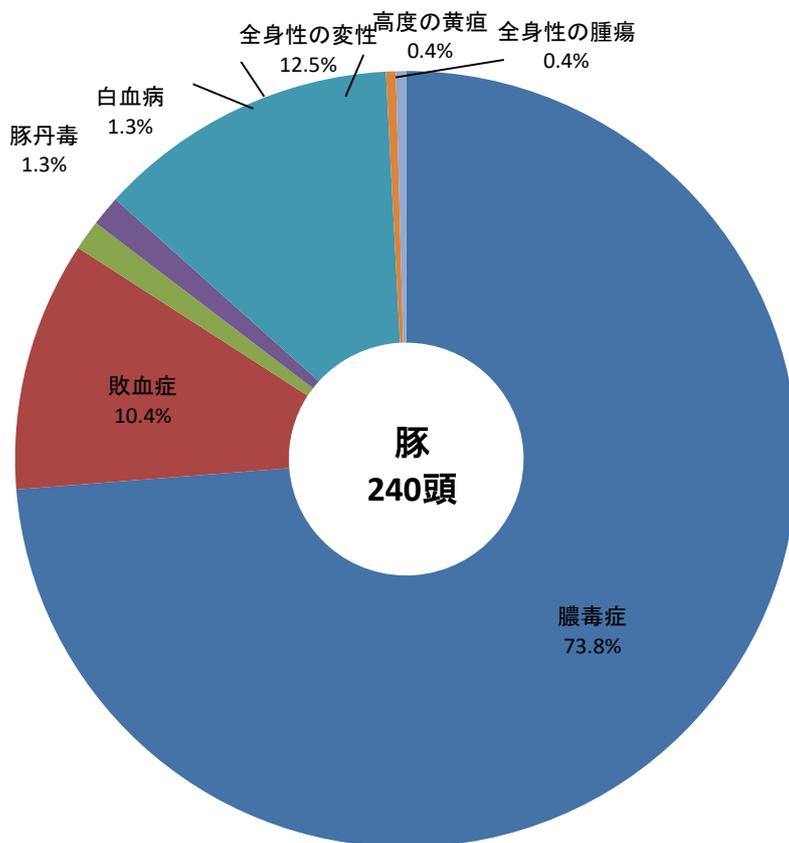
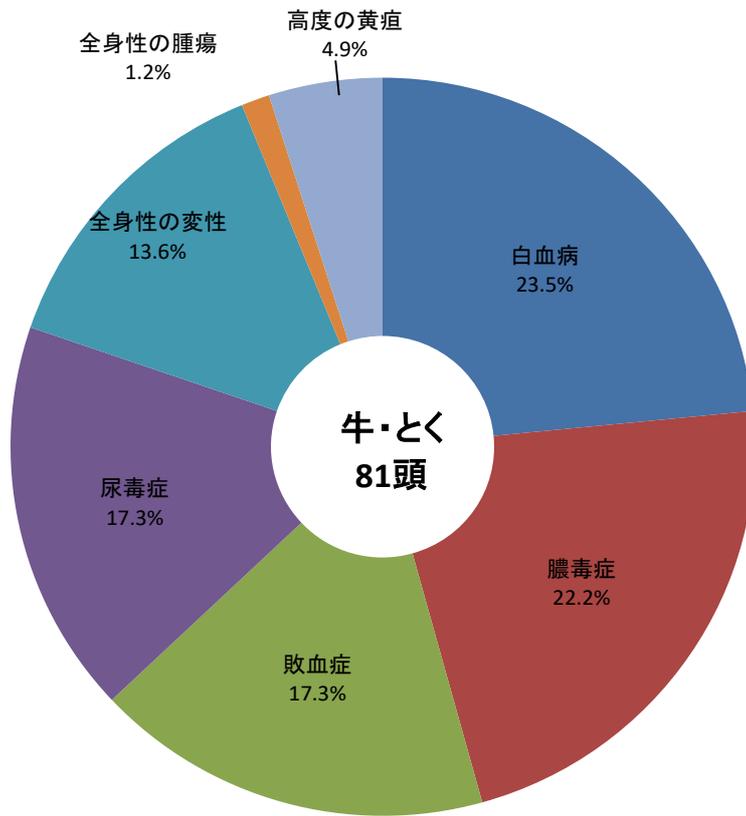
① と畜検査措置別頭数

	牛	とく	馬	豚		めん羊 山羊	佐賀県 食肉センター 計	大良 食肉センター 計	県 計	
				佐賀県 食肉センター	大良 食肉センター					
と畜検査頭数	5,095	3	1	88,011	13,346	-	93,110	13,346	106,456	
措 置 頭 数	とさつ解体禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	80	1	-	61	179	-	142	179	321
	部分廃棄	3,310	2	-	60,244	8,725	-	63,556	8,725	72,281
	計	3,390	3	-	60,305	8,904	-	63,698	8,904	72,602

② 病名別全部廃棄頭数

畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
豚 丹 毒				3		3
膿 毒 症	17	1		177		195
敗 血 症	14			25		39
尿 毒 症	14					14
高 度 の 黄 疸	4			1		5
高 度 の 水 腫						-
全 身 性 の 腫 瘍	1			1		2
全 身 性 の 炎 症						-
全 身 性 の 変 性	11			30		41
白 血 病	19			3		22
豚 赤 痢						-
悪 性 水 腫						-
計	80	1	-	240	-	321

病名別全部廃棄の割合



③ 病名別部分廃棄頭数

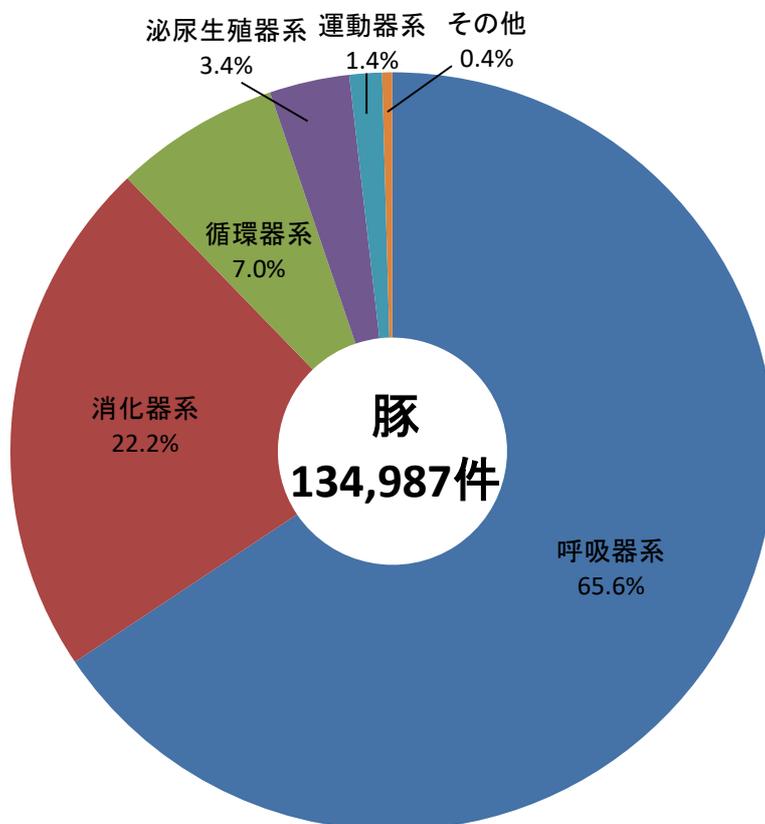
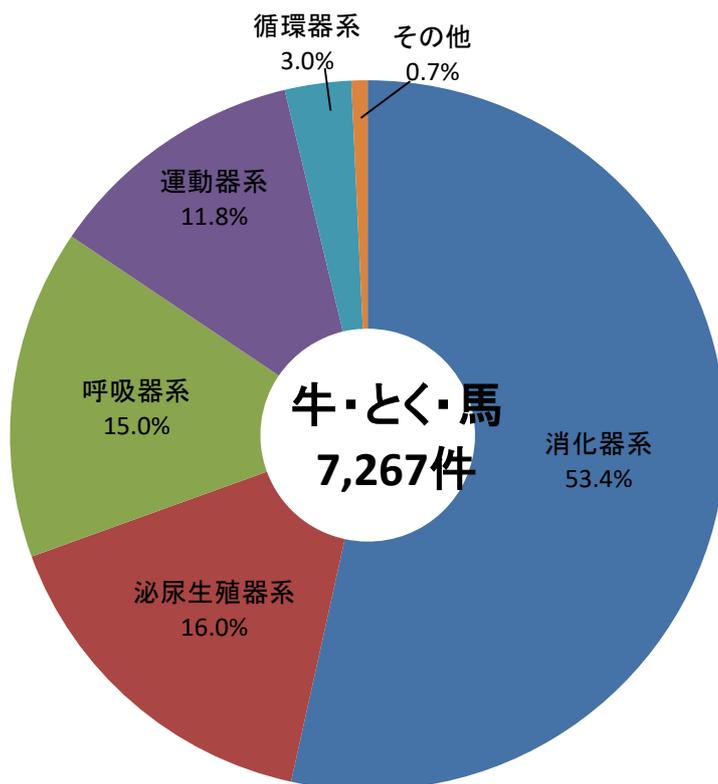
病名		畜種		牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
		畜種	畜種						
呼吸器系	鼻	炎		1			1		2
	肺	炎		342			6,962		7,304
	S E P	軽度					33,898		33,898
	S E P	重度					5,573		5,573
	へ	モ	肺炎				431		431
	肺	膿瘍		37			3,803		3,840
	肺	気腫		42					42
	豚	肺虫症							-
	胸	膜炎		395	1		22,178		22,574
	化膿性	胸膜炎		17			1,325		1,342
	横	膜炎		169	1		14,240		14,410
	横	膿瘍		80			153		233
	肺	充血		1					1
	呼吸器系	の腫瘍							-
	呼吸器系	の奇形		1					1
	その他			5			3		8
小計			1,090	2	-	88,567	-	89,659	
循環器系	心	筋炎		6			19		25
	心	臓肥大					196		196
	心	外膜炎		139			6,376		6,515
	心	筋変性		18			183		201
	創傷性	心膜炎							-
	心	筋出血		14			5		19
	心	内膜炎					3		3
	心臓	の奇形							-
	脾	包膜炎		12			2,550		2,562
	脾臓	の腫瘍					1		1
	捻	転脾					9		9
	脾	出血性梗塞					7		7
	その他			29			117		146
小計			218	-	-	9,466	-	9,684	

病名	畜種		牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
	胃	炎	388		1	2,586		2,975
胃	潰瘍	5					5	
小腸	炎	123		1	3,217		3,341	
大腸	炎	146	1	1	5,597		5,745	
腸	ヘルニア				972		972	
非定型抗酸菌症					18		18	
腸間膜脂肪壊死		837					837	
直腸	脱				29		29	
腸	気泡症				3		3	
腹膜	炎	57			2,834		2,891	
腹膜	膿瘍	16			105		121	
豚	回虫症						-	
肝	炎	285			472		757	
肝	包膜炎	214			3,975		4,189	
間質性	肝炎				6,637		6,637	
退色	肝				950		950	
肝	出血	763			30		793	
鋸屑	肝	345					345	
肝	膿瘍	141			29		170	
胆管	炎	208			1		209	
肝	硬変	2			7		9	
肝	富脈斑	108					108	
肝	の変性	9					9	
嚢胞	肝	2			4		6	
肝	繊維症						-	
肝	ミコバクテリウム症						-	
肝	蛭症	15					15	
脾臓	水腫				720		720	
消化器系	の腫瘍						-	
消化器系	の奇形						-	
寄生虫	症						-	

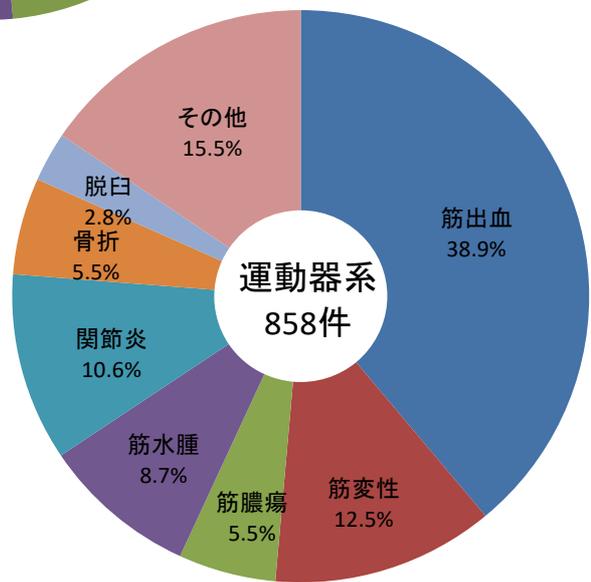
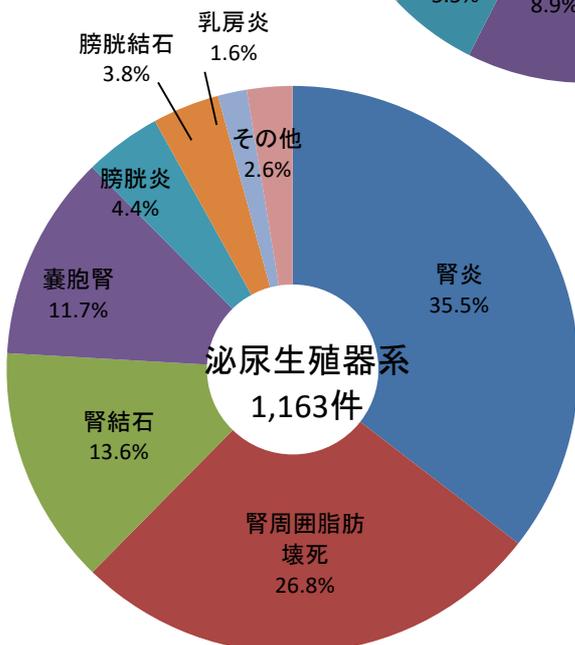
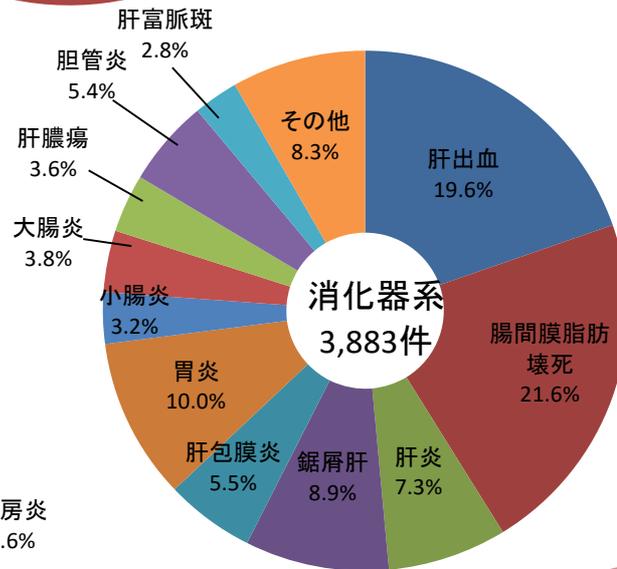
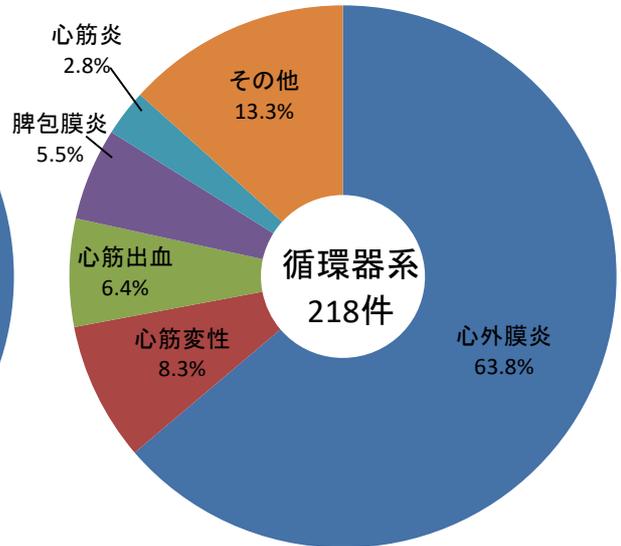
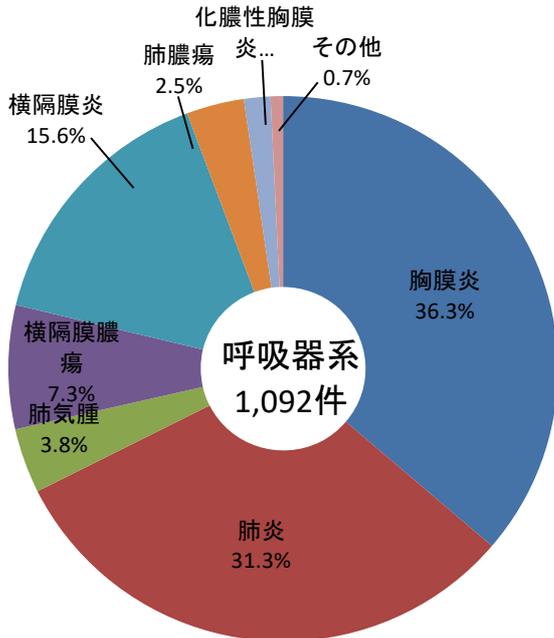
病名		畜種		馬	豚	めん羊 山羊	計
		牛	とく				
消化器系	肝小葉間静脈炎	25					25
	肝砂粒症						-
	寄生虫性肝炎				1,766		1,766
	その他	190					190
	小計	3,879	1	3	29,952		33,835
泌尿生殖器系	腎炎	413			1,382		1,795
	腎結石	158					158
	嚢胞腎	136			2,180		2,316
	腎芽腫						-
	腎の変性	1					1
	腎周囲脂肪壊死	312					312
	膀胱炎	51			593		644
	膀胱結石	44			126		170
	尿道炎	1					1
	尿道結石	2					2
	生殖器奇形				1		1
	卵巣嚢腫	1			15		16
	子宮炎	6			76		82
	子宮蓄膿症	1			6		7
	子宮・膣脱				13		13
	妊娠子宮	14			125		139
	乳房炎	19			45		64
	後産停滞						-
	上記以外の炎症	2					2
	上記以外の腫瘍	1			2		3
化膿性膀胱炎	1			2		3	
小計	1,163	-	-	4,566	-	5,729	
運動器系	関節炎	91			215		306
	脱臼	24			4		28
	骨折	47			61		108
	外傷						-

病名	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
	運動器系	筋炎	1				
筋変性		107			142		249
筋出血		332	2		441		775
スポーツト							-
筋膿瘍		47			806		853
筋水腫		75			31		106
脊柱膿瘍		2			22		24
放線菌症		3					3
蹄葉炎							-
上記以外の炎症		11			98		109
上記以外の変性		116			32		148
その他							-
小計		856	2	-	1,852	-	2,710
その他		消化器以外の寄生虫症					
	黄疽	6					6
	火傷				1		1
	皮下膿瘍	44			582		626
	皮膚メラノーマ						-
	白内障						-
	大脳皮質壊死症						-
	脳炎						-
	眼球の腫瘍						-
	フレグモナーネ	1					1
	メラニン沈着症	2					2
	その他				1		1
	小計	53	-	-	584	-	637
合計	7,259	5	3	134,987	-	142,254	

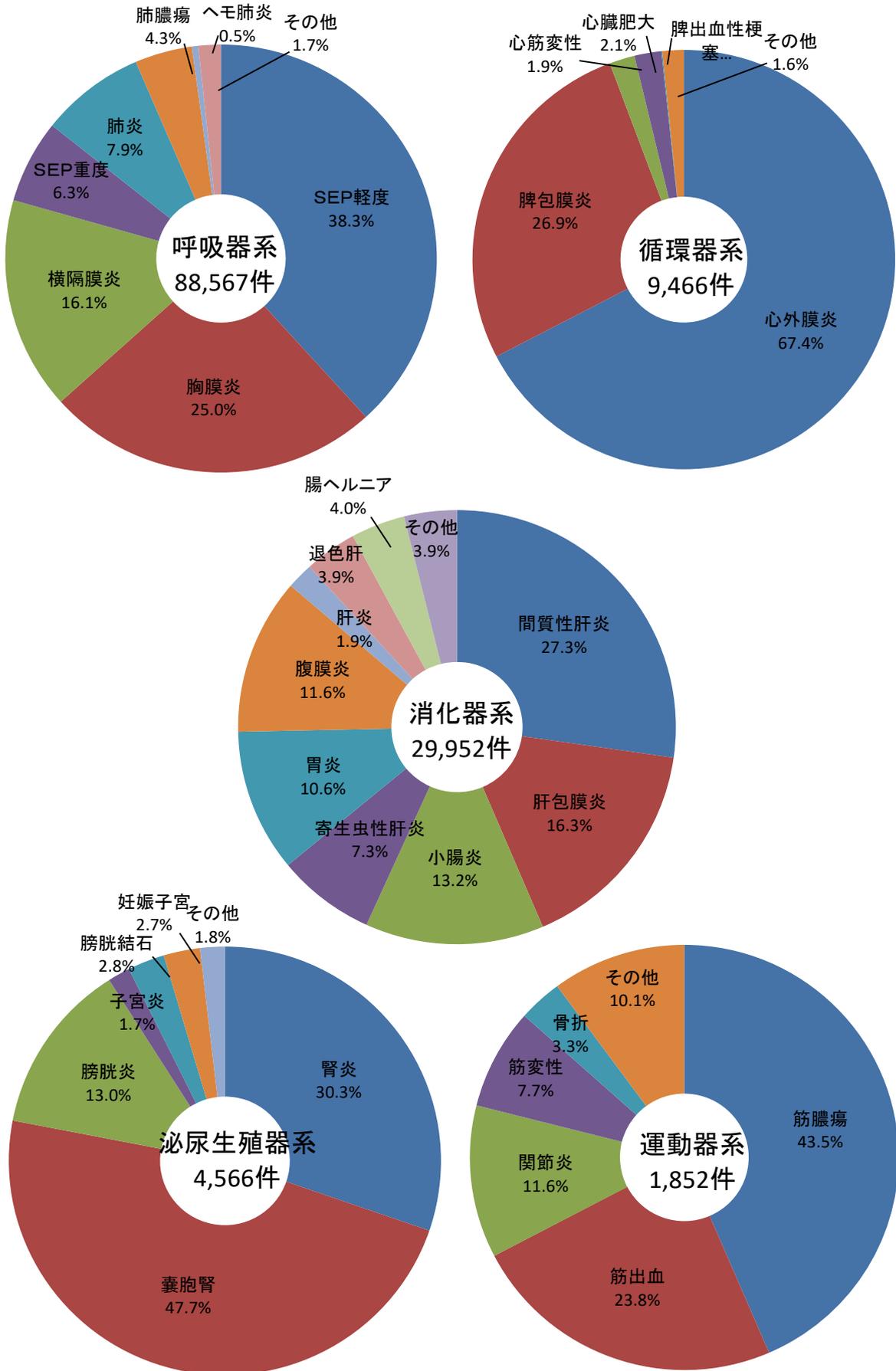
畜種別部分廃棄件数の割合



部分廃棄件数の割合（牛・とく・馬）



部分廃棄件数の割合（豚）



(4) 病畜の検査状況 (県計頭数)

① 病名別分類

病 名	検 査 結 果			
	牛		とく	馬
	時間内	時間外	時間内	時間内
肺 炎 ・ 肺 膿 瘍	77	11		
肺 気 腫 ・ 肺 水 腫				
胸 膜 炎 ・ 横 隔 膜 炎	5	-		
肝 炎 ・ 肝 膿 瘍 ・ 胆 管 炎	71	9		
肝 硬 変 ・ 肝 出 血 ・ う っ 血	12	1		
肝 蛭 症				
急 性 ・ 慢 性 鼓 脹 症	2	-		
胃 炎 ・ 胃 腸 炎 ・ 胃 潰 瘍	14	1		
第 四 胃 変 位	5	-		
腸 炎 ・ 腸 捻 転	13	1		1
直 腸 脱 (含 ヘルニア)				
腹 膜 炎	11	1		
食 滞 ・ 弛 緩 症	1	-		
腎 炎	5	2		
尿 石 症 (腎 ・ 膀 胱 結 石)	7	4		
膀 胱 炎	5	-		
子 宮 内 膜 炎 ・ 子 宮 蓄 膿 症	1	-		
子 宮 ・ 膣 脱				
難 産 ・ 早 産				
産 前 ・ 産 後 起 立 不 能	2	-		
乳 房 炎 (含 壊 疽 性)	17	-		
乳 頭 ・ 乳 房 損 傷	1	-		
筋 肉 炎 (含 膿 瘍)	4	2		
筋 肉 水 腫	5	-		
筋 肉 変 性	3	1		
筋 肉 出 血	9	2		
関 節 炎	38	5		
脱 臼 ・ 亜 脱 臼 ・ 捻 挫	20	5		
骨 折	34	7	1	
打 撲 傷				
趾 間 腐 爛 ・ 蹄 葉 炎				

病名	検査結果			
	牛		とく	馬
	時間内	時間外	時間内, 時間外	時間内
腰 痠 ・ 腰 麻 痺	11	1		
熱 射 病 ・ 日 射 病	5	1	1	
放 線 菌 症	2	-		
脂 肪 壊 死 症	23	2		
そ の 他 の 疾 病	23	2		
著 変 な し	45	3		
膿 毒 症	16	1	1	
敗 血 症	11	2		
尿 毒 症	13	2		
高 度 の 水 腫				
全 身 性 の 腫 瘍	1	-		
全 身 性 の 変 性	7	3		
牛 伝 染 性 リ ン パ 腫	11	4		
全 身 性 の 炎 症				
高 度 の 黄 疸	3	1		
計	533	74	3	1

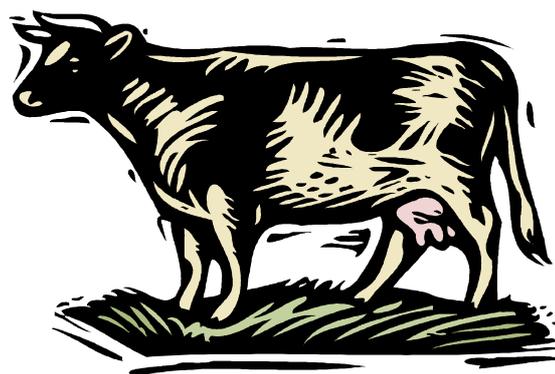
② 疾患別分類

疾患の分類	検査結果			
	牛	とく	馬	合計
呼 吸 器 系 疾 患	93 (15.7%)			93 (15.2%)
肝 疾 患	93 (18.1%)			93 (15.2%)
消 化 器 系 疾 患	49 (5.2%)		1 (100%)	50 (8.2%)
泌 尿 器 系 疾 患	23 (4.5%)			23 (3.8%)
生 殖 器 系 疾 患	21 (2.9%)			21 (3.4%)
運 動 器 系 疾 患	135 (18.9%)	1 (33.3%)		136 (22.3%)
そ の 他 の 疾 患	118 (21.8%)	1 (33.3%)		119 (19.5%)
全 部 廃 棄	75 (12.9%)	1 (33.3%)		76 (12.4%)
計	607	3	1	611

(5) BSEスクリーニング検査結果

令和3年4月～令和4年3月

区 分	検 査 頭 数	陰 性	陽 性
生後24か月齢以上で神経症状等を呈する牛	-	-	-
めん羊	-	-	-
山羊	-	-	-
合 計	-	-	-



(6) 精密検査

① 病名別検査実施状況

病名	検査頭数						検査件数								疾病決定頭数					
	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計	細菌検査			病理 検査	理化学 検査	寄生虫 その他	BSE 検査	計	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
							鏡検	培養	同定											
豚丹毒	-	-	-	22	-	22	61	283	26	-	-	-	-	370	-	-	-	3	-	3
膿毒症	12	-	-	2	-	14	213	278	-	-	32	-	-	523	13	-	-	2	-	15
敗血症	17	-	-	24	-	41	443	626	2	-	18	-	-	1,089	14	-	-	21	-	35
悪性水腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
尿毒症	45	-	-	1	-	46	-	-	-	-	76	-	-	76	14	-	-	-	-	14
黄疸	31	-	-	1	-	32	-	-	-	-	74	-	-	74	4	-	-	1	-	5
水腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腫瘍	22	-	-	4	-	26	-	-	-	423	233	-	-	656	1	-	-	1	-	2
全身性の炎症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変性萎縮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白血病 (牛伝染性リンパ腫を含む)	2	-	-	-	-	2	-	-	-	36	24	-	-	60	19	-	-	3	-	22
B S E※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	14	-	-	15	-	29	-	-	-	72	9	-	-	81	-	-	-	-	-	-
計	143	-	-	69	-	212	717	1,187	28	531	466	-	-	2,929	65	-	-	31	-	96

※検査対象：24か月齢以上のうち疾病鑑別の観点から検査が必要であると判断した牛

② 食品衛生法に基づく有害物質残留検査（厚生労働省モニタリング検査）※

検体品名	牛		豚		鶏		はちみつ	養殖魚	乳	計
	筋肉	腎臓	筋肉	腎臓	筋肉	卵				
検体数	25	25	50	50	49	8	2	5	3	217
検査延件数	155	25	140	50	265	48	2	5	3	693
陽性数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陰性数	25	25	50	50	49	8	2	5	3	217

※微生物学的な簡易検査法、高速液体クロマトグラフィーを用いた残留抗生物質等の検査

③ 食品衛生法に基づく有害物質残留検査（独自モニタリング検査）※

畜種	牛		とく		馬		豚		めん羊 山羊		計
	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	
検査頭数	111	-	2	-	-	-	173	-	-	-	286
検査延件数	111	-	2	-	-	-	173	-	-	-	286
陽性数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陰性数	111	-	2	-	-	-	173	-	-	-	286

※微生物学的な簡易検査法、高速液体クロマトグラフィーを用いた残留抗生物質等の検査

④ 食中毒菌汚染対策事業

検査部位 検査項目	牛				豚	その他 (施設器具等)	合計
	枝肉	内臓	糞便	小計	枝肉		
一般細菌	30	-	-	30	60	-	90
腸内細菌科菌群	30	-	-	30	60	-	90

第3章 食鳥肉衛生指導事業

1 県内食鳥処理場位置図



区分	番号	食鳥処理場名	所在地	処理食鳥	年間処理羽数
大規模食鳥処理場	①	(株)佐賀ブロイラー	佐賀市	成 鶏	約210万羽
	②	トリゼン食鳥肉協同組合	唐津市	ブロイラー	約680万羽
	③	(株)ヨコオ巖木工場	唐津市	ブロイラー	約392万羽
	④	(株)JAフーズさが伊万里チキンフーズ工場	伊万里市	ブロイラー	約750万羽
	⑤	ありた(株)	西松浦郡有田町	ブロイラー	約393万羽
認定小規模	⑥	就労継続支援施設東西食鶏加工	佐賀市	成 鶏	約24万羽
	⑦	山田処理場	唐津市	成 鶏	約1万羽

2 事業概要

食鳥検査制度発足当初（平成3年）から、大規模食鳥処理場（年間処理羽数が30万羽を超える施設）における食鳥検査を（公財）佐賀県食鳥肉衛生協会に委任している。

県内には、大規模食鳥処理場が5施設、認定小規模食鳥処理場が2施設あり、全食鳥処理場の処理羽数は、約24,504千羽である。

その内訳としては、大規模食鳥処理場が約24,253千羽で、認定小規模食鳥処理場が約251千羽であり、令和2年度に比べ、大規模食鳥処理場で約480千羽増加し、認定小規模食鳥処理場で約24千羽減少した。

当検査所では、食鳥肉の安全及び衛生確保を図るため、食鳥処理場の監視指導及び食鳥とたいの微生物検査並びに残留有害物質等の検査を実施するとともに、施設の整備及び衛生管理等の改善指導に努めている。

また、県内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合は、（公財）佐賀県食鳥肉衛生協会及び各食鳥処理場へ随時情報提供を行い、速やかな情報共有及び注意喚起を行う。

食鳥処理場等に対しては、引き続き感染食鳥の搬入防止や従事者の汚染防止等の周知徹底及び指導を行う。

(1) 立入検査状況

処理場	施設数	立入回数	指導件数		
			構造設備	衛生管理等	計
検査対象施設 (大規模処理場)	5	18	0	24	24
確認対象施設 (認定小規模処理場)	2	8	1	13	14

(2) 収去検査状況

収去検体数 (もも)	抗生物質	合成抗菌剤
	陽性数	陽性数
49	0	0

(3) 微生物検査実施状況

検査項目	一般細菌	大腸菌群
実施施設数※	7	7
実施検体数※※	69	69

※検査対象施設 5施設、確認対象施設 2施設 ※※食鳥とたい（1検体：5羽分の首皮）

(4) 食鳥検査及び確認状況

①年度別羽数

(単位：羽)

検査対象施設	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ブロイラー	22,073,478	21,585,870	22,151,153
成鶏	2,195,366	2,187,205	2,102,192
合計	24,268,844	23,773,075	24,253,345

確認対象施設	令和元年度	令和2年度	令和3年度
成鶏	245,756	274,598	250,772

②月別羽数

(単位：千羽、以下四捨五入)

検査対象施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ブロイラー	1,815	1,798	1,819	1,791	1,780	1,774	1,893	1,923	2,141	1,805	1,759	1,855
成鶏	106	147	152	135	139	184	225	113	238	240	223	200
合計	1,921	1,945	1,971	1,925	1,919	1,958	2,118	2,036	2,379	2,045	1,981	2,055

確認対象施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
成鶏	14	21	21	22	21	21	21	22	24	24	20	21

③食鳥検査に基づく措置（検査対象施設）

1) 措置羽数

(単位：羽)

種類 措置	ブロイラー	成鶏	合計
検査羽数	22,151,153	2,102,192	24,253,345
合格	21,205,374	2,078,022	23,283,396
解体禁止	101,397	—	101,397
全部廃棄	225,377	24,170	249,547
一部廃棄	619,005	—	619,005

2) 措置の理由

(単位：羽)

種類	ブロイラー			成鶏			合計		
	検査羽数	22, 151, 153			2, 102, 192			24, 253, 345	
措置区分	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
マ レ ッ ク 病	0	2, 539	0	0	0	0	0	2, 539	0
サルモネラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌症	0	84, 509	0	0	0	0	0	84, 509	0
ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変性	16, 211	12, 217	61, 709	0	3, 011	0	16, 211	15, 228	61, 709
尿酸沈着症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹水症	12, 418	38, 154	0	0	0	0	12, 418	38, 154	0
出血	0	811	46, 563	0	10	0	0	821	46, 563
炎症	1	69, 477	510, 732	0	9, 600	0	1	79, 077	510, 732
萎縮	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍	0	240	0	0	4, 696	0	0	4, 936	0
黄疸	0	38	0	0	12	0	0	50	0
外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
削瘦及び発育不良	72, 569	13, 274	0	0	3, 829	0	72, 569	17, 103	0
放血不良	166	1, 035	0	0	2, 962	0	166	3, 997	0
湯漬過度	32	3, 077	0	0	50	0	32	3, 127	0
その他	0	6	1	0	0	0	0	6	1
合計	101, 397	225, 377	619, 005	0	24, 170	0	101, 397	249, 547	619, 005
措置率 (%)	0. 46%	1. 02%	2. 79%	0. 00%	1. 15%	0. 00%	0. 42%	1. 03%	2. 55%

④確認に基づく措置 (確認対象施設)

(単位：羽)

措置	確認羽数 (250, 772羽)	措置率 (%)	
生体の状況	廃棄	0	0. 00%
体表の状況	全部廃棄	706	0. 28%
	一部廃棄	0	0. 00%
体壁の内側面の状況	廃棄	0	0. 00%
内臓の状況	当該臓器のみ廃棄	821	0. 33%
	内臓全部廃棄	0	0. 00%
合計	全部廃棄	706	0. 28%
	一部廃棄	821	0. 33%

第4章 調査研究事業

1 調査・研究・報告の概要

○学会発表

年月日	学会名等	演題名
R3. 10. 22～10. 31	令和3年度獣医学術九州地区学会 (Webオンデマンド開催)	牛腸結節虫感染を疑う肉芽腫性腸炎がみられた牛の2例
R3. 10. 28～11. 4	全国食肉衛生検査所協議会第78回病理 研修会 (書面開催)	牛の小腸

牛腸結節虫感染を疑う肉芽腫性腸炎がみられた牛の2例

○磯脇亜紗美¹⁾、松久友季絵¹⁾、橋口謙一¹⁾、井上健²⁾、藤木美和³⁾、青木茂久⁴⁾

¹⁾佐賀県食肉衛検、²⁾佐賀県有明海再生・自然環境課、³⁾佐賀県唐津保、⁴⁾佐賀大学医学部

【緒言】牛腸結節虫は牛の小腸および大腸に寄生し、腸壁に結節性病変を形成する線虫の一種で、と畜検査において本虫寄生による結節がまれに認められる。今回、牛腸結節虫感染を疑う肉芽腫性腸炎が2例みられたため報告する。

【症例】症例1：経産牛、黒毛和種、通常畜。小腸に直径約1～5 mmの褐色～黒色の結節を多数認めた。結節の多くは硬化し、わずかに軟らかいものもみられた。多くは粘膜下に存在し、ごくわずかに漿膜面にも認めた。症例2：経産牛、黒毛和種、通常畜。小腸及び盲腸の粘膜下に直径約5～10 mmの緑褐色の結節を多数認めた。結節は軟らかく、内部には緑褐色の膿様物質を容れていた。

【方法】上記の小腸および盲腸を10%中性緩衝ホルマリン液で固定後、常法により組織標本を作製しHE染色を実施した。また、粘膜面の結節から市販のDNA簡易抽出キットを用いて精製したDNAをテンプレートとし、既存の牛腸結節虫のプライマーを用いてPCR反応を行った。

【結果】症例1：多くの結節は粘膜筋板直下に位置し、漿膜面にみられたものは漿膜下にみられた。硬化した結節の中心部には好酸性物質が塊状に認められ、その周囲を多核巨細胞が取り囲み、その外側に好酸球、リンパ球がわずかに浸潤していた。軟らかい結節においては、中心部に線虫の断面と考えられる異物を認め、その周囲には好酸球、リンパ球主体の炎症細胞が浸潤していた。結節内容物のPCR検査結果は陰性であった。症例2：結節は粘膜筋板直下に位置し、中心部は多数の変性した好酸球が集簇しており、その周囲を取り囲むようにマクロファージからなる類上皮肉芽腫が形成され、その外側にリンパ球、好酸球が浸潤していた。また、小腸の結節内に線虫の断面と考えられる異物を認めた。小腸、盲腸結節のPCR検査結果は陽性であった。

【考察】今回報告した2例において結節内に線虫とみられる異物を認めたことから、寄生虫感染により引き起こされた肉芽腫性腸炎であると診断した。牛腸結節虫に対するPCR検査では症例2のみ陽性であったが、症例1では感染から時間が経過し結節が硬化していたために陰性となったと考えられた。しかし、2例とも肉眼所見および組織像が類似していたことから、牛腸結節虫感染による可能性が高いと考えられた。今回のように粘膜面に発生する病変は、通常のと畜検査では排除することが困難なため、と畜解体業者と連携する工夫が必要である。

演 題：牛の小腸

機 関 名：佐賀県食肉衛生検査所

氏 名：磯脇 亜紗美

動 物 名：牛 品種：黒毛和種 性別：雌（経産） 年齢：143 カ月齢

病 歴：なし

生 体 所 見：通常畜として搬入され、特になし。

内 臓 所 見：小腸及び盲腸の粘膜面に、約φ5～10 mmの緑褐色の小結節が多数認められた。小結節は軟らかく、内部には緑褐色の膿様物質を容れていた。同個体では他に胆管炎、横隔膜炎、腎炎、皮下出血及び筋出血がみられた。

組 織 所 見：結節は粘膜筋板直下に位置し、中心部は多数の変性した好酸球が集簇しており、その周囲を取り囲むようにマクロファージからなる類上皮肉芽腫が形成され、その外側にリンパ球、好酸球が浸潤していた。結節の辺縁部では粘膜上皮は残存していたが、結節の中心部付近では粘膜上皮は消失しびらんがみられた。また、結節内に線虫の断面と思われる像を認めた。

分子生物学的探索：当該牛の小腸、盲腸の結節から QIAamp DNA Mini Kit を用いて精製した DNA をテンプレートとし、文献¹⁾に記載のある牛腸結節虫 (*Oesophagostomum radiatum*) のプライマーを用いて PCR 検査を実施したところ、文献に記載がある通り 329bp 付近に単一のバンドが検出された。

- 1) D.S.Zarlenga et al., 2001. A multiplex PCR assay for differentiating economically important gastrointestinal nematodes of cattle

固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位（図示）



行政処分：一部廃棄（炎症）

組織診断名：牛の小腸の寄生虫感染に伴う好酸球性肉芽腫

疾病診断名：牛の牛腸結節虫感染による寄生虫性腸炎

2 研修・会議等参加状況

時 期	研 修 会 等 の 内 容	場 所
R3. 6. 11 ~ 6. 18	令和3年度九州食肉衛生検査所協議会第1回役員会	(書 面)
R3. 6. 14	一元的な輸出証明書発給システムに係る地方公共団体向け説明	(WEB)
R3. 7. 1 ~ 7. 8	全国食肉衛生検査所協議会 行政問題検討委員会	(書 面)
R3. 7. 8	第1回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R3. 8. 3 ~ 8. 24	全国食肉衛生検査所協議会 所長会議及び第57回全国大会	(書 面)
R3. 8. 5	第2回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R3. 9. 2	第3回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R3. 10. 1 ~ 10. 29	令和3年度全国食肉衛生検査所協議会微生物部会総会及び研修会	(書 面)
R3. 10. 7	第4回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R3. 10. 8 ~ 11. 5	令和3年度第39回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会総会及び研修会	(書 面)
R3. 10. 11 ~ 10. 22	令和3年度（第50回）九州食肉衛生検査所協議会大会及び総会	(書 面)
R3. 10. 22 ~ 10. 31	令和3年度獣医学術九州地区学会	(WEB) (演 題 提 出)
R3. 10. 28 ~ 11. 19	令和3年度全国食肉衛生検査所協議会病理部会総会及び第78回病理研修会	(書 面) (演 題 提 出)
R3. 11. 8 ~ 11. 12	令和3年度対米食肉輸出認定施設指名検査員研修	栃 木 県
R3. 11. 11	第5回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R3. 12. 16	第6回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R4. 1. 13	第7回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R4. 1. 21	令和3年度農林水産省補助事業 自治体職員向け食肉の対米輸出に関わる研修	(WEB)
R4. 2. 3	第8回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R4. 3. 3	第9回佐賀県食肉センター輸出認定進捗状況打合せ会議	佐 賀 県
R4. 3. 4	一元的な輸出証明書発給システムの移行に向けた操作説明会	佐 賀 県
R4. 3. 14	令和3年度衛生薬業センター感染症危機管理研修会	(WEB)

第5章 その他の事業

1 佐賀大学との調査研究

と畜検査における病理学的調査研究を佐賀大学医学部と実施しており、毎週1回、1名の検査員が佐賀大学医学部病理学教室で、調査研究及び技術の研鑽に努めている。

2 食肉に関する衛生教育及び施設研修等

畜産食品の需要が高まる今日、より一層の食肉の安全確保を図るため、関係団体の共励会及び食肉センター職員への講習会等での衛生指導を実施し、食肉衛生の向上に努めている。

対 象 者	実施回数	参加者数	備 考
佐賀牛枝肉共励会	2回	181名	衛生指導※
畜産公社管理者・従業員	1回	40名	と畜場施設の衛生管理講習会及びグループワーク
太良食肉販売協同組合管理者・従業員	1回	13名	と畜場施設の衛生管理講習会
計	4回	234名	

※白衣、衛生キャップ着用及び手洗いに関する衛生指導

3 と畜検査結果のフィードバック

安全な食肉の生産供給のため、生産者、と畜場設置者及び家畜保健衛生所等との連携を密にし、と畜検査結果データをフィードバックすることにより、生産段階で活用され、生産から流通、消費に至る総合的な食肉の安全確保に寄与している。

4 研究機関等への協力

大学などから研究材料、疾病調査及び教育教材など材料採取等の依頼があったものについては、積極的に協力している。

調 査 研 究 機 関 等	部 位
出荷団体（JA）	豚の頭部及び肺
佐賀県衛生薬業センター	豚の血液
福岡県筑後家畜保健衛生所	豚の肺